

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第31週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が128例あった。第30週目までの届出は67例であり、届出総数は195例となった。

全数報告の感染症 (31週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症2例。
4類感染症：報告なし。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	80歳代	男	肺結核	咳、発熱
		日向	80歳代	男	疑似症患者	発熱
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	60歳代	女	—	O157(VT2)
		都城	0~4歳	男	—	水様性下痢、O26(VT型不明)

指定感染症 (31週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群										症状
			10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代		
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	46例		3	10	10	10	7	5	1		発熱、咳、 全身倦怠感等	
	都城	5例			1	2				1	1		
	延岡	28例			3	2	7	13	3				
	高鍋	44例	1	5	1	8	12	3	12	2			
	日向	5例					5						

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は376人(定点当たり11.3)で、前週比116%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

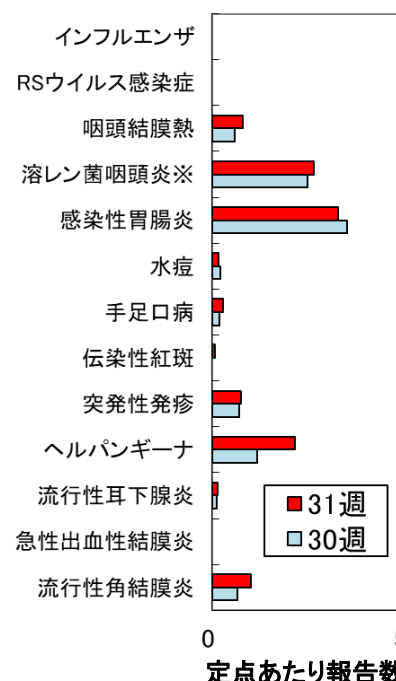
報告数は95人(2.6)で、前週比107%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.6)の約1.6倍であった。延岡(8.0)、日南(6.3)、宮崎市(3.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は別グラフに示す。

【ヘルパンギーナ】

報告数は77人(2.1)で、前週比183%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.6)の約0.6倍であった。都城(7.8)、日南(5.0)、延岡(3.3)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約8割を占めた。

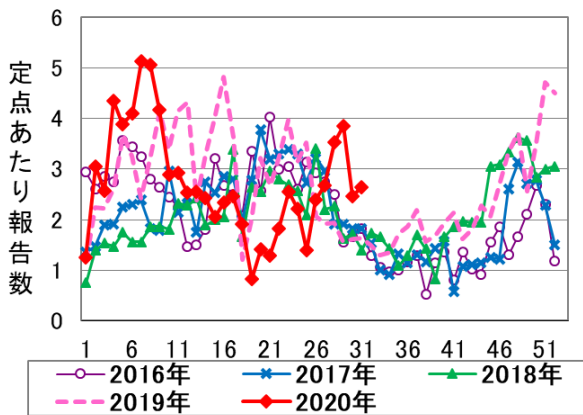
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

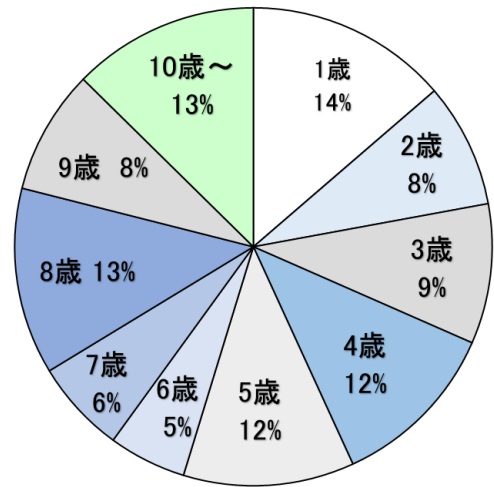


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

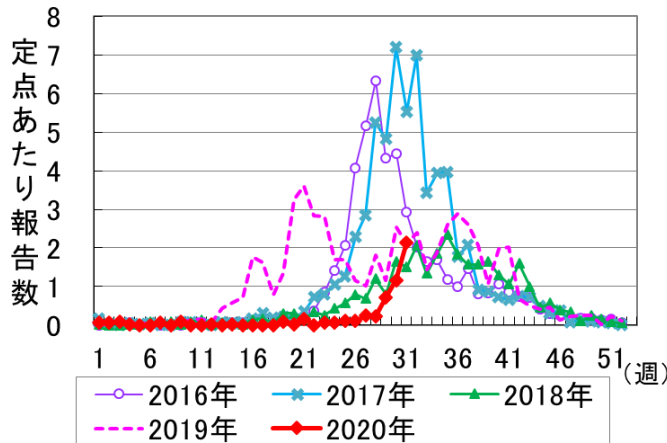
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



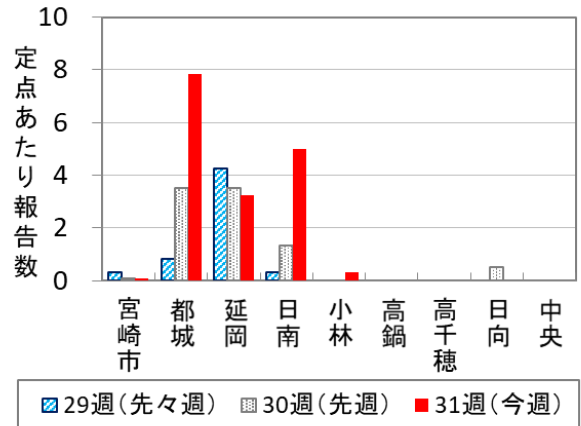
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢群別割合



ヘルパンギーナ 発生状況



ヘルパンギーナ 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	ヘルパンギーナ(7.8)
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊
 ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8)
 ・ヘルパンギーナ(6)

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年8月3日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
<i>Salmonella</i> Enteritidis (09:g,m:-)	5~9歳	女	2020.7.14	発熱(37.9℃)、 胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.7.17
EHEC(O157:H7 VT2)	0~4歳	男	2020.7.17	発熱、胃腸炎(水様性下痢、血便)	便	2020.7.24

★ウイルス 報告なし。

同定ウイルス名	年齢	性別	採取年月日	臨床症状等	検出材料	分離・検出日
A型肝炎ウイルス (遺伝子型 IA)	30歳代	女	2020.7.8	A型急性肝炎、39.0℃、黄疸、 肝機能障害、倦怠感	便	2020.8.3
A型肝炎ウイルス (遺伝子型 IA)	10歳代	女	2020.7.17	A型肝炎、39.0℃、黄疸、肝機能障害、 食欲不振	便	2020.8.3

○A型肝炎と診断された2名からA型肝炎ウイルス(HAV)が検出された。A型肝炎は潜伏期間が長く疫学調査が困難であるため遺伝子解析が重要である。今年に入り当所では3名からHAVが検出されているが、いずれの遺伝子型もIAである。

🇯🇵 全国 2020 年第 30 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第30週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	172例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	82例	腸チフス	1例		
4類感染症	E型肝炎	3例	回帰熱	1例	重症熱性血小板減少症候群	2例
	つつが虫病	1例	日本紅斑熱	3例	ボツリヌス症	1例
	マラリア	1例	レジオネラ症	84例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	10例
	急性脳炎	3例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群	8例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	水痘(入院例)	1例	梅毒	33例
	播種性クリプトコックス症	3例	破傷風	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1例
	百日咳	8例	風しん	1例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 84%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は、水痘とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は2,226人(0.7)で前週比76%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.7)の約0.4倍であった。宮崎県(2.5)、鳥取県、福岡県(2.4)からの報告が多く、年齢群別では4歳から6歳が全体の約3割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は5,478人(1.7)で前週比77%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(3.7)の約0.5倍であった。大分県(4.3)、宮崎県(3.5)、富山県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約2割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第31週(07月27日～08月02日)

疾病名	第30週	第31週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	21	29	13	8	3		2		2	1
	定点当り	0.58	0.81	1.30	1.33	0.00	1.00	0.50	0.00	0.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	89	95	33	4	32	19	1	4	2	
	定点当り	2.47	2.64	3.30	0.67	8.00	6.33	0.33	1.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	126	118	22	27	3	11	16	11	1	24
	定点当り	3.50	3.28	2.20	4.50	0.75	3.67	5.33	2.75	1.00	6.00
水痘	報告数	8	6	2		3			1		
	定点当り	0.22	0.17	0.20	0.00	0.75	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
手足口病	報告数	7	10	3	2		3			2	
	定点当り	0.19	0.28	0.30	0.33	0.00	1.00	0.00	0.00	0.50	0.00
伝染性紅斑	報告数		3	1	1				1		
	定点当り	0.00	0.08	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	25	27	9	2	8	1	1	1	2	3
	定点当り	0.69	0.75	0.90	0.33	2.00	0.33	0.33	0.25	0.50	3.00
ヘルパンギーナ	報告数	42	77	1	47	13	15	1			
	定点当り	1.17	2.14	0.10	7.83	3.25	5.00	0.33	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	5	1	1					1	2
	定点当り	0.11	0.14	0.10	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	2.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数	4	6	4		2					
	定点当り	0.67	1.00	1.33	0.00	2.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ 肺炎	報告数	1									
	定点当り	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～31週)

2類感染症	結核	104例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	14例(2)		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	4例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	3例
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	10例
	破傷風	3例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	195例(128)		

()内は今週届出分、再掲